



Title	ごあいさつ
Author(s)	松本, 圭史
Citation	癌と人. 2006, 33, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23625
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ごあいさつ

理事長 松本圭史*

皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団に格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本財団は、昭和 10 年に大阪の財界をはじめ有志の方々の熱意とご支援により、本財団の前身である「大阪癌治療研究会」が設立され、その後、昭和 39 年に「財団法人大阪癌研究会」と名称を改め今日に至っております。

設立来今日までに実施してまいりました主な事業は、ラジウムによる癌の治療研究（昭和 39 年終了）、乳癌と大腸癌の集団検診（平成 5 年終了）、会誌「癌と人」の刊行、癌に関する学術研究助成、癌に関するシンポジウム・講演会等助成等で、いずれも地道ながらその成果をあげてまいりました。

この間、深いご理解とご支援いただいた賛助会員の皆様を始め、多くのご援助いただいた方々に改めて衷心よりお礼申し上げます。

今後も、設立目的に添って活動を続けたく思っており、そこで、これからも実施してまいります主な事業について、その概要をご紹介させていただきます。

1. 癌に関する学術研究を助成する「一般学術研究助成事業」でございます。

この事業は、「悪性腫瘍の診断と治療に関する基礎的並びに臨床的研究」をテーマにした研究を、全国約 100 研究機関から公募し、優秀な研究 12 件に研究費を助成するもので、全国の研究者から多くの応募をいただいております。

2. 癌に関するシンポジウム、研究会等の開催経費を助成する「癌に関するシンポジウム・講演会等助成事業」でございます。

平成 18 年年度から発展的に見直し、「癌の臨床試験研究に関する研究・シンポジウム等経費助成事業」として実施してまいります。

この事業は、癌の予防・診断及び治療に関する研究の進歩普及に貢献するため、臨床試験研究の研究費・シンポジウム経費・講演会経費及び研究会経費等を助成するものです。

3. 「癌の知識普及活動事業」としまして、本会誌「癌と人」の刊行です。

この会誌は、一般市民の方々がご理解いただける内容に配慮しつつ、最近の癌医療や研究等を紹介し、癌に関する正しい知識の普及活動を目的に刊行するもので、主に地方公共団体の福利施設や健康管理センター等に無償で配布いたしております。

以上が主たる活動事業で、これらの事業を通じて癌医学の発展に貢献し、全人類の悲願である癌の撲滅に向かって本財団の社会的使命を果たしたいと存じております。

今後とも皆様方の暖かいご理解と力強いご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げ、「癌と人」第 33 号の発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

* (財) 大阪癌研究会理事長、大阪大学名誉教授